

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4570900185		
法人名	社会福祉法人えびの朋友会		
事業所名	グループホーム顔なじみ		
所在地	宮崎県えびの市大字榎田579番36 (電話) 0984-25-4557		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成21年12月16日	評価確定日	平成22年1月22日

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な山あいにたたずむ3ユニットのホームは、澄んだ空気と広がる青空、濃い緑が鮮やかに四季の移り変わりを教えてくれる、自然豊かな環境の中に位置している。併設の特別養護老人ホームとの連携も取れており、家庭的なケアを中心とした「顔なじみ」の関係づくりができています。理念は法人の理念とは別にホームの理念が掲げられており、職員の意識も高く、内部研修会に定期的に参加したり、外部研修に計画的に職員を派遣するなど、積極的な取り組みを推進している。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）
	前回評価の改善シートに計画的な取り組みがあるが、一つひとつの項目の改善状況について、十分な検討や対応がなされていない項目もある。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）
	職員は評価の意義を理解し、自己評価についても全職員が項目や内容を理解し、その内容についての協議も職員全体会議で行なっている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4, 5, 6）
	運営推進会議は2か月に1回開催し、利用者の状態やホームの運営についての説明を行っている。また、外部評価の結果報告に対する意見や、日ごろのホームの支援方法等についての意見もある。会議で出された意見は、職員会議等で報告し、今後の利用者支援や運営のための参考としている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7, 8）
	3か月に1回ホーム便りを発行し、家族への手紙や預り金出納簿の写しを毎月の利用料請求書等と一緒に発送している。職員は利用者の毎日の支援の際のヒヤリ・ハット事例を記録し、そのつど利用者支援の方法を見直すようにしている。また、家族等からの意見や苦情についても、速やかに職員会議で検討した後、解決に向けての取り組みができるようにしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）
重点項目④	ホーム周辺には民家や社会資源となる関係機関が少なく、利用者の生活のための地域住民との交流や連携を取りにくい状況であるが、区の会合に職員が参加したり、便りを住民に配布したりしながら、ホームの存在感を地域に向けてアピールしている。

## 【情報提供票より】（平成21年11月24日事業所記入）

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 5年12月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤15人, 非常勤7人, 常勤換算19.9人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	実費 円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	192 円	昼食	294 円
	夕食	294 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(平成21年11月24日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名	
要介護1	7	要介護2	8			
要介護3	7	要介護4	1			
要介護5	3	要支援2	1			
年齢	平均	86.5 歳	最低	74 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人相愛会桑原記念病院
---------	---------------

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの理念を、地域密着型の理念に変えるために職員間で話し合い、「地域とのつきあいを大切に」という理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、地域性を持った理念と、個条書きのケア理念を、日々のケアの実践に生かせるよう、ミーティング等で確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の分区の集会に職員が参加したり、ホーム便りを地域に配布するなど、地域に溶け込んでいくための取り組みはあるが、利用者が地域住民と交流を図ったり、ホームが地域との連携を図ることなど、うまくできていない部分もある。	○	ホーム周辺の環境や社会資源の活用など、距離的な問題もあるが、積極的に地域住民や地域の団体等、社会資源である機関との連携や交流を図っていくことを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価の報告は、職員全体会議で行い、改善シートの計画的な改善内容についても、職員間で協議し改善に取り組んでいる。また、自己評価についても職員会議等で話し合い、作成している。		

宮崎県えびの市 グループホーム顔なじみ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2か月ごとに定期的に開催し、利用者の状態やホームの運営についての報告を行っている。また、昨年の外部評価の報告や、地域とのつき合い方など、ホームの課題について、助言をもらう場になっている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者との連絡調整は、主にユニットごとの管理者が直接行うようにしている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の来訪時に、十分にコミュニケーションを取り、利用者の状況について報告をしている。また、3か月に1回便りを送付したり、手紙や金銭出納簿の写しを毎月送ることで、定期的な報告としている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見を引き出す工夫として、家族と職員の懇談会を計画するなどの取り組みは積極的に行っている。また、家族等からの意見や苦情についての迅速な対応もできている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、年間を通じて少ないので、利用者への影響はあまりないが、職員の勤務シフトが、3つのユニットを一つとして組んであり、なじみのある職員が定着できる体制となっていない。	○	なじみのある職員の支援がより受けられるような工夫を期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	系列法人には3つのグループホームがあり、定期的な研修を行い、ホーム単独の内部研修も、職員会議を利用して行っている。また、外部研修へも計画的にスタッフを派遣している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列法人の他のグループホームとの連携や情報交換を常に行っている。また、県西地区のグループホーム連絡協議会の研修会や交流会に参加することで、利用者支援の向上に生かすようにしている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの見学や体験入居も取り入れながら、利用者に不安のないよう取り組んでいる。また、入居直後も家族の来訪を頻繁に要請したり、外出などにより精神的にも落ち着くことができるよう取り組んでいる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と共に過ごす中で、昔の慣習などを教えてもらう機会を得ている。しかし、職員の勤務シフトなどにより、ユニットに定着して、利用者に寄り添う時間が少ないこともあり、一緒に過ごしながらか支えていく体制ができていない側面もある。	○	一緒に過ごし、喜怒哀楽を共にする関係づくりを更に期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「利用者会議」の中で利用者の希望や意向を引き出す工夫がある。また、その意向を利用者の個別支援の参考にしている。把握が困難な場合は、家族からの情報により対応している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、利用者を担当する職員が計画作成担当者との連携により、随時情報の共有を行っている。利用者家族の意向や希望、主治医の意見も添えて、担当者会議で検討し作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の作成は3か月ごとに行っており、プランの評価やモニタリングも毎月できている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームは利用者の要望等に応じて、通院や墓参り等の支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の多くが系列法人の病院を掛かりつけ医としており、週2回の往診もあることで、利用者は安心して過ごすことができている。また、看護師の配置もあり、主治医への報告や緊急時の対応もできる体制がある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の場合のケアや看取りのための指針はないが、利用者家族のニーズがあれば、対応するための職員間の意識は共有できており、利用者の掛かりつけ医の協力ももらうことができるようになってきている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の利用者に対する言葉遣いや接遇に関しては、本人の気持ちを損なわないようなやさしい接し方ができている。また、利用者個人の記録などの保管も適切になされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別の生活ペースに対する支援が、利用者の状態に合わせてできている。利用者が望むことについては、できる限りその意向に沿った支援ができるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食と昼食に関しては隣接の特別養護老人ホームより、食事が準備され、夕食のみをホームが作るようにしている。職員も一緒に食卓を囲み介助の必要な方の支援をしながら、食事の合間の会話に華を咲かせている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の回数や曜日のニーズに沿った支援体制ができています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛りつけや後片づけ、洗濯物たたみなど、利用者ができることを側面的に職員は支援し、利用者の楽しみごととして個別に対応している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム敷地内の散歩やドライブ、外食、利用者の生家訪問、墓参りなど、個別に対応している。また、季節的な行事での外出も計画的に行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関や非常口など、原則として日中は鍵をかけることはなく、職員も鍵をかけないケアの取り組みを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的なホーム内での災害訓練を行っており、地元消防団への協力依頼もしている。また、年2回の総合防災訓練では、消防団の協力を得て実施している。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は、毎日個別に記録しており、職員は利用者の状態を把握することができている。また、献立のことや栄養管理が必要な方に対しては、併設施設の栄養士の助言を聞くことができる。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂ホールに自然に利用者が集まり、交流できる空間がある。また、畳の間もあり、くつろげるスペースもある。ホーム内の必要な個所には手すりが設置され、利用者の安全な生活の工夫が施されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れた持ち物や冷蔵庫、仏壇、マッサージ器などを持ち込み、個性ある居室作りができている。		

※  は、重点項目。